

学校だより



青葉が丘

平成27年10月30日

第8号

別海町立上西春別中学校

発行責任 校長 志道 仁

教育目標

- 知 ~自己のよさを生かし、意欲的に学習する生徒
- 徳 ~明るく思いやりの心と言動に責任を持つ生徒
- 体 ~辛苦に耐える強靱な心身を持つ生徒

「心を鍛える」ということ

校長 志道 仁

冷たい木枯らしが、しがみついている葉っぱを吹き飛ばしていきます。そして、予想外の降雪は、冬がもうそこまで近づいていることを逃れられない事実として突きつけてきます。冬は寒く、冷たい季節ですが、その分人間は心と体を温め、次の春を迎える準備をしっかりと行います。特に、心を鍛えることは人間らしく生きていく条件にもなります。

そもそも、心を鍛えるということは心が折れそうな大変な困難を乗り越えたとか、試練に耐えてきたということだけではありません。

心が強い、弱いが決まる要素の一つは自己肯定感です。この自己肯定感が低い人は「自分はダメだ」とか「自分は上手くいかない」という意識が深層心理に存在しています。そして、ちょっとした失敗でやっぱりダメだ、という気持ちになって簡単にあきらめてしまうことが多くなってしまいます。この状態では、心を鍛えるどころか、成長も期待できません。この状態で、心が折れそうな困難を乗り越えよう、というのは無理な話ですから、心を鍛えるためには、自己肯定感を高めるということが優先されるのです。

そして、この自己肯定感を高める要素は自己有用感です。「自分はここにいていいんだ」「自分は役に立っているんだ」という体験、経験から来る感覚が自己有用感を高め、強い心を形成していくのです。

先日行われた本校の文化祭は、58人の生徒全員が「自分は役に立っている」ことを認識できる場面がたくさんありました。そして、「君じゃないとダメなんだ」「君がいるからできたんだ」というお互いの感謝の気持ちが全ての部門、場面で表出し続けた文化祭でした。感謝の心を素直に表現できる生徒が58人存在したということです。お互いの感謝の気持ちは受け取る側にとっては自己有用感を高める最大の要素になり、大いに心を鍛えることができた文化祭になったのです。こんな生徒に囲まれていることに大きな幸せを感じます。

自己有用感は、相手の存在なしには生まれてこないという点において、自己肯定感とは意味合いが違ってきます。自己有用感是对自分に対する他者からの評価ですので、評価される実態があって初めてにじみ出てくるのです。実態が評価されるものかどうかを直感的にとらえ、改善しながら人間は生きていくものなのです。そう考えると、人間は常に行動と判断が相まって生きていくということになります。

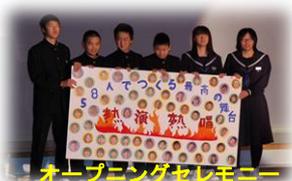
人は学ぶ生き物です。そして、脳や心は使えば使うほど鍛えられるという原理原則で成り立っています。自己有用感を高めたいという欲求は本能的な欲求です。この欲求が満たされたときに自己有用感に裏付けされた自己肯定感が高まり、心が鍛えられるのです。

本校の生徒は随分と心を鍛えました。これで、少しばかりの困難には立ち向かう準備ができたのかもしれませんが、木枯らしに立ち向かう木の幹は、しっかりと根を張っているといわれます。本校の生徒も様々な経験、体験を通じ大きく根を張ることができました。これから、更にたっぷりの栄養分を吸収し、大きく枝を広げ、きれいな花を咲かせ、立派に実を付けることができるようにしてほしいものです。

我々も、この自己有用感が高まる場面をたくさん準備し、ますます心を鍛えることができる学校になるよう、そして、学校も自己有用感を感じられるように努力を重ねていきます。大人も子どもも自己有用感、立派な心の栄養分です。

第43回文化祭～58人をつくった最高の舞台！

10月25日（日）に行われた文化祭は、たくさんのお客様に見守られる中、最高のステージを展開しました。中でも、圧巻の全校合唱は、多くの方々から、お褒めの言葉をいただきました。実行委員中心につくりあげ成功させた自信を、今後の生活につなげていってほしいものです。



オープニングセレモニー



1年劇「お北けのチャチャチャ



2年劇「ギルティ?オア/ノットギルティ?」



吹奏楽部演奏



3年劇「美女と野獣」



太鼓演奏



全校合唱「信じる」



エンディングセレモニー

よりわかりやすい授業展開のために

10月28日（水）に、校内研修の一環で、北海道教育大学附属釧路中学校の先生をお招きして、これから学校の中心となる2年生を対象に、数学の模擬授業を行っていただきました。いつもとは違う雰囲気の中頑張る生徒の姿が印象的でした。

授業後は、今日の模擬授業をもとに研究協議を行いました。活発な話し合いを通して、学び合ったことを生かして、よりよい授業づくりを目指してまいります。



附属中・辻川智宏先生による授業。西尾先生がサポート。



授業後の研究協議。真剣に話し合い、学び合いました。

<11月行事予定>10月30日現在

日	曜	行 事	部活	給食	バス
1	日		△		
2	月	朝会 教育相談期間	○	○	16:00
3	火	文化の日	△		
4	水	町音楽発表会 弁当の日 はくちょう号	○	弁	16:00
5	木	3年学力テスト(総合C) 研修日	○	○	14:35
6	金	委員会 漢字検定	○	○	16:00
7	土	町PTA研究大会(西公民館・午前) PTA環境整備(午後)	△		
8	日	西春別地区総合文化祭 吹奏楽部定期演奏会 英検②2次	△		
9	月	3年総合「バイオガス見学」 放課後学習	○	○	16:00
10	火	研修日(校内授業研修)	○	○	14:35
11	水	SC	○	○	16:00
12	木	職員会議	○	○	14:35
13	金	生徒総会	○	○	16:00
14	土	バレーボール秋季大会(標津町)	△		
15	日		△		
16	月	3年生三者面談	○	○	16:00
17	火	朝会	↓	○	○
18	水	はくちょう号		○	○
19	木	2年「太鼓学習」 放課後学習	○	○	16:00
20	金	ALT		○	○
21	土	別海町少年弁論大会	△		
22	日	PTAパンづくり講習会	△		
23	月	勤労感謝の日	△		
24	火			×	○
25	水	SC		×	○
26	木	3年「租税教室」		×	○
27	金	後期中間テスト		○	○
28	土			△	
29	日			△	
30	月	放課後学習		○	○

御声援よろしくお願ひします！

11月 8日（日）第43回西春別地区総合文化祭

太鼓発表 11:45～ ※予定

吹奏楽部定期演奏会 14:00～

※3年生は、この日のステージで引退となります。

11月21日（土）第62回別海町少年弁論大会

※校内主張発表会で選ばれた代表生徒が出場します。

9:15～ マルチメディア館(別海旭町47-1)

久瑠美さん「あいさつ」(9:36～)

里咲さん「後悔から学んだこと」(10:36～)